

宮城県看護協会



石巻支部ニュース

令和8年2月発行



マタニティベビーフェスタ

今年は2回目の参加。今回はブースの飾りつけに特に力を入れました。明るい雰囲気で皆さんのが思わず立ち寄りたくなるような空間を作りました。ペンやシールを配布し、来場者さんの笑顔がさらに広がりました。小さな子が白衣を着てポーズをとる姿は、私たちスタッフにとっても最高の癒しとなりました。今回も、看護協会と地域の方々との距離を縮める良い機会となりました。来場者の方々も「看護協会ってこんな活動もしているんですね！」と、新鮮な驚きを感じてくれたようです。 地域貢献の可能性が広がるきっかけとなり、私たちも大変嬉しく思っています。イベントで得た学びや活気を今後の日常業務にも活かして、より良い医療現場づくりそして心身ともに健康な社会の実現に貢献していきたいと思います。



ひがしまつしま文化祭

宮城県看護協会石巻支部事業の「まちの保健室」で令和7年10月18日に東松島市にて開催された「秋のひがしまつしま市民文化祭」に参加しました。 今回は、血圧測定・握力測定・手洗いの実践の場を提供し、約70名に参加していただきました。 手洗いでは、ブラッケライトを使用して洗い残りを経験してもらい、洗い残りを実際に目で確認してもらう事で、手洗いに対する興味や意識を高めてもらえる良い機会になりました。 握力測定では、実年齢より数値が大きいと喜んでいただける方が多かったと思います。 まちの保健室事業で東松島市の市民との交流や健康相談の場が提供でき、今後の活動にいかしていきたいと思います。



介護福祉フェスティバル2025



石巻支部は今年度初めて「石巻地区介護福祉フェスティバル2025」に参加し、地域の皆さまへ看護の魅力を伝えるイベントを開催しました。会場には公式キャラクター「かんごちゃん」も登場し、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる企画が多数用意されました。健康相談や介護用品展示、介護食品の試食・体験コーナーなど、地域住民が気軽に参加できるプログラムが展開され、介護と看護の役割を身近に感じていただける貴重な機会となりました。さらに、楽天イーグルス公式チアリーダー「東北ゴールデンエンジェルス」が華やかなダンスフォーマンスを披露。さらに軽快なダンスと笑顔で観客を魅了し、介護や福祉のテーマに彩りを添える存在として、イベントの大きな目玉となりました。今回の参加を通じて地域住民や介護職の方々との交流が一層深まり、看護の魅力を広く発信できることは、大きな成果です。石巻支部は地域に根ざした活動を継続し、看護の力で安心して暮らせるまちづくりに貢献して参ります。



メンタルヘルス研修

令和7年12月13日石巻赤十字病院講堂にて、「メンタルヘルス研修」をテーマに研修が行われました。公認の心理師の先生に講義をして頂き、46名が参加しました。今回の研修では、心の健康を保つための基礎知識に加え、アンガーマネジメントについても学びました。ストレスの仕組みやセルフケアの方法を理解し、呼吸法など日常に取り入れやすい工夫を知ることで、実践的に活かせる自信がつきました。さらに、怒りの発生するメカニズムを知り、怒りの感情を適切にコントロールするアンガーマネジメントの考え方を学ぶこともできました。具体的には、6秒ルールや怒りのパターンを記録することなど、日常生活や職場で活用できる実践的な手法が紹介され、感情に振り回されずに対話を進めるためのヒントを得ることができました。今後は研修で得た知識を日常業務に積極的に取り入れ、心身の健康を維持しながら良好な人間関係の構築に貢献したいと思います。



来年度より紙面から
Web掲載へ変更に
なります!!
友達登録してね!



登録はこちらから↑



LINE 登録後
ここから見てね

